

徳島県安否確認アプリ構築業務に係るプロポーザルに関する質問と回答

番号	質問日	質問内容	回答
1	令和 8 年 5 月 28 日	<p>対象箇所：仕様書 P6 3.7セキュリティ 脆弱性対策セキュリティ診断の実施</p> <p>「本番稼働前に、アプリケーション及びプラットフォームに対するセキュリティ診断（脆弱性診断）を実施し」との記載がございますが、脆弱性診断に係る費用については御見積内容に含めさせて頂くことは可能でしょうか。また、脆弱性診断は“第三者機関による実施を想定する”という理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>【脆弱性診断に係る費用について】</p> <p>仕様書「1.6 調達範囲」に基づき、本番稼働前に実施するセキュリティ診断（脆弱性診断）に要する一切の費用は、受託者にて負担してください。</p> <p>【第三者機関による脆弱性診断実施について】</p> <p>脆弱性診断の客観性と信頼性を担保するための方法については、ご質問において例示頂いている第三者による実施など提案者として最適と考えられる方法を選択の上、提案してください。</p>
2	令和 8 年 5 月 28 日	<p>対象箇所：仕様書 P14 7.1 成果物</p> <p>弊社としては SaaS サービスでの提案を検討しておりますが、SaaS サービスとしての提供を行う場合、成果物表内にある内部アーキテクチャに関わる詳細設計書、インフラ構成図、および単体・結合テスト結果などの粒度、納品可否については相談可能となりますでしょうか。</p>	<p>SaaS サービスを用いた提案である場合、その特性（既製システムの共同利用等）を考慮し、成果物一覧（仕様書「7.1 成果物」）に定められたドキュメントの記載粒度や、一部資料の納品可否（代替資料への差し替え等）については、契約締結後に本県と受託者間で協議・相談のうえ調整することは可能です。</p> <p>ただし、以下の事項についてはシステムの安全性や要件適合性を確認する上で必須となるた</p>

			<p>め、省略することはできません。</p> <p>インフラ構成について：仕様書 3.1.3「サーバ環境」等（ISMAP 登録状況、物理的なデータ保管場所、メインサーバの設置地域等）の要件を満たしていることが客観的に確認できるインフラ構成図（概略図等を含む）や書面。</p> <p>テスト結果について：徳島県向けに構築される環境、および外部基盤（Lアラート等）との連携に関わる総合テスト、運用テスト、完成検査の計画書および結果報告書。</p> <p>なお、提出が困難な成果物や、粒度の変更を希望するドキュメントがある場合は、その理由および代替として提出可能な資料（サービス仕様書、セキュリティチェックシート等）について、企画提案書内（実施計画や前提条件等）に具体的に明記してご提案ください。</p>
3	令和 8 年 5 月 28 日	<p>対象箇所：仕様書 【別紙 1】 安否確認アプリ機能一覧 No. 7 および「3.2 使用性・操作性」におけるアカウント登録フロー</p> <p>仕様書「別紙 1 安否確認アプリ機能一覧」の No. 7（事業者内従事者向け機能）において「アカウントやユーザ情報を登録・～できること」と記載されております。一方で、仕様書「3.2 使用性・操作性（操作性の向上）」には、「事業者内管理者が事業者内従業員アカウント登録時に（中略）事業者内管理者の承認ステップを簡</p>	<p>仕様書 3.2「使用性・操作性」に記載のとおり、事業者内管理者及び事業者内従業員の双方の負担が軽減する仕組みのご提案を求めています。</p> <p>したがって、御質問に記載のとおり、部外者による不正利用やなりすましを防止するためのシステム上の対策（例えば、管理者ごとの事前招待コードの配布、特定のメールアドレスドメインによる自動承認、管理者による一括承認機能など）も含め、管理者及び従業員双方の利便性</p>

		<p>略化する仕組みについても工夫すること」との記載がございます。</p> <p>事業者内従事者のアカウント新規登録フローについて、システム設計・セキュリティ対策の前提を揃えるため、以下のどちらの運用を想定されているか確認させてください。</p> <p>1. (想定する要件)管理者による登録・配布パターン</p> <p>従事者のアカウントは、管理者側で一括登録等を行い、各従事者に配布する仕様。(一般の従事者自身がアプリ等からアカウントを新規作成・申請するフローは持たない)</p> <p>2. (想定していない要件)従事者による申請と、管理者による承認パターン</p> <p>従事者自身がアプリ等からアカウントの新規作成(利用申請)を行い、それを管理者が承認する仕様。(※もし上記「2」のような、従事者自身によるオープンな新規登録フローを許容・想定されている場合、なりすましや部外者による不正利用を防止するためのシステム的な対策(所属証明や本人確認等)をご提案に含める必要があるため、確認させていただくものです)</p>	<p>とセキュリティを両立する具体的な仕組みをご提案に含めてください。</p>
4	令和8年5月28日	<p>対象箇所：仕様書「別紙1 安否確認アプリ機能一覧」No.21「利用状況把握」</p> <p>No.21(利用状況把握)において、「県及び各事業者がユーザ数、利用状況等の把握・分析が行</p>	<p>仕様書別紙1 No.21において、「県及び各事業者がユーザ数、利用状況等の把握・分析が行える環境を提供すること。」としています。</p> <p>これを踏まえ、単にCSV(Excel)等による数字等</p>

		<p>える環境を提供すること」ならびに「ユーザ情報、安否回答内容等のデータを CSV 形式等によりダウンロードできること」との記載がございます。ユーザ情報や安否回答内容のデータを「CSV 形式等でダウンロードできる機能」を提供し、実際の集計・分析作業は、ダウンロードしたデータを用いて県や事業者が手元の環境（Excel 等）で行えるようになっていれば要件を満たすでしょうか。 ※管理画面上でのグラフやチャート等で描画した分析用画面は不要の認識です</p>	<p>を羅列したデータ（情報）のみでは、上記「把握・分析が行える環境を提供すること」の要件を満たすものとはいたしません。管理画面上等でユーザ数、利用状況等の分析が容易に行える環境（例えば、県の管理画面では、事業者ごとの人数やその下部組織及びその人数などに加え、それらの利用状況等を容易に分析できる環境などを想定しています。事業者内管理者の管理画面でも所属する下部組織の人数などに加え、それらの利用状況等を容易に分析できる環境などを想定。）をご提案ください。</p>
5	令和 8 年 5 月 28 日	<p>対象箇所：仕様書「2.2 運用保守機能」における「メンテナンス機能」</p> <p>「メンテナンス機能」を実装することとの記載がございます。要件としては、システムメンテナンスを実施する際、受託者側の運用においてインフラの設定等を用いて、利用者に対して「メンテナンス中」を知らせる静的な案内画面（Sorry ページ、エラー画面等）を表示させる対応が可能であれば、要件を満たすでしょうか。本アプリの管理者画面上に「メンテナンスモード切替ボタン」のような専用機能を設け、管理者がシステム画面上から任意のタイミングでメンテナンス状態に変更できるような、アプリケーションとしての機能実装までは求めている認識です。</p>	<p>仕様書 8.1(1)において、「本アプリの運用時間帯は 24 時間 365 日である。ただし、計画停止による業務停止を許容する。」としています。当該計画停止（メンテナンス等）による停止中に利用者に対する表示として、お示しいたしている「メンテナンス中」を知らせる案内画面を表示させるといった対応とすることは差し支えありません。</p> <p>なお、管理者が任意のタイミングでメンテナンス時間・状態を設定できる機能の実装については、提案者からご提案いただくことを妨げるものではありません。</p>

6	令和 8 年 5 月 28 日	<p>対象個所：仕様書「2.2 運用保守機能」バージョンアップ更新機能（サーバ側、アプリ側）バージョンアップ更新機能とは、</p> <p>1. サーバ側 受諾者側の運用によるリモート保守により、アプリケーションの移行作業などが発生することなくシステムを更新可能であること</p> <p>2. アプリ側 スマートフォンアプリとして提供する場合、ストア経由の配布による自動的なアップデートの仕組み で要件を満たしていますでしょうか。</p>	<p>ご認識の通りです。仕様書「2.2 運用保守機能」における「バージョンアップ更新機能」の要件については、以下のとおり想定しています。</p> <p>【1. サーバ側】 受託者側の運用（リモート保守等）により、県や各事業者にデータ移行等の特別な作業負担を発生させることなく、システム（機能変更や不具合修正、セキュリティパッチ等）を適切に更新できることとしてください。</p> <p>【2. アプリ側】 スマートフォンアプリとして提供する場合、各ストアの仕組みを通じて、利用者の端末に対して円滑にアップデート（自動更新等）が行えることとしてください。</p> <p>なお、アプリ側においては、将来的な OS（iOS、Android 等）のバージョンアップに伴う動作不具合の防止や新 OS への適合（OS 追従保守）のためにアプリを更新し、ストア経由で再配布する作業一切を含むこととし、アップデート等に際しては、上記のとおり、利用者負担を最大限軽減することとしてください。</p>
7	令和 8 年 5 月 28 日	<p>対象個所：仕様書 P4 3.1.3 サーバ環境 「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）クラウドサービスリストに登録さ</p>	<p>ご認識の通りです。仕様書「3.1.3 サーバ環境」における ISMAP に関する要件については、本業務で利用する「クラウド基盤」が ISMAP ク</p>

		<p>れたサービスであること。」との記載がございますが、本要件は、本業務にて利用する“クラウド基盤”が ISMAP 認証を取得していれば要件を満たす認識でよろしいでしょうか。本業務にて利用予定のクラウド基盤が ISMAP 認証を取得していれば良く、本業務にて構築・提供するアプリケーションサービス自体では ISMAP 認証は不要の認識です。</p>	<p>クラウドサービスリストに登録されたサービスであれば要件を満たすものとし、本業務にて受託者が構築・提供するアプリケーションサービス自体が同リストに登録されていることまでを求めるものではありません。</p> <p>ただし、提供されるアプリケーションサービス自体については、仕様書「3.7 セキュリティ」に定められた各種要件（本番稼働前の脆弱性診断の実施、通信・データの暗号化、不正アクセス対策等）を確実に満たす環境として構築・提案してください。</p>
8	令和8年5月28日	<p>対象箇所：仕様書【別紙1】安否確認アプリ機能一覧 No.3</p> <p>多言語対応については、ユーザが利用するスマホアプリのみでの対応で、管理者画面での対応は不要という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおり、仕様書【別紙1】No.3における多言語化対応については、事業者内従業員等が使用するアプリ等での対応を必須としているものであり、管理者画面での対応を必須とするものではありません。</p> <p>なお、管理者画面での多言語化について、ご提案いただくことを妨げるものではありません。</p>
9	令和8年5月28日	<p>対象箇所：仕様書【別紙1】安否確認アプリ機能一覧 No.18</p> <p>「CSV形式等により事業者内従事者の一括登録・更新・削除」との記載がございますが、こちらのCSVフォーマットについて、事業者ごとに異なる仕様（各事業者の既存フォーマットへの対応など）ではなく、1種類で統一させる認識でよろしいでしょうか。複数種類の場合は、費用算</p>	<p>ご認識のとおり、仕様書【別紙1】No.18に記載するCSV形式等のフォーマットの種類については、1種類で統一させることを想定しております。</p> <p>なお、利便性向上等の理由により、複数種類としてご提案いただくことを妨げるものではありません。</p>

		出の必要があるため、おおよそ何種類となるか ご教示頂けますでしょうか。	
--	--	--	--